



学生実習も前半戦が終わり、夏休みに入。学生畑はサツマイモだけが秋の収穫に向けて蔓を伸ばしています。

夏休み前、夏野菜いっぱいと言って、自分の収穫物をスマホで写している学生の姿を見ることができました。また、休みに入る前にサツマイモの蔓の長さを見せるとどのくらいの芋を収穫できるのかと期待を寄せている様子もしばしばありました。どのように伸びるのが未知数のため、その結果に期待は大きいようです。



夏休み前ブルーベリーが収穫期を迎え、多くの学生たちが喜んでつまみながら収穫しました。

学生によっては虫がいるのなら遠慮しますと収穫しませんでした。イラガの幼虫が見られ、数名が被害を受けました。症状は軽くすみしました。また、気づかず背中に付けていることもありました。注意を促すと「ここにいます」と声がかかり、相当数を駆除しました。そして、人によってはケースに入れるより、口に入れるほうが多く思えました。



モロヘイヤが収穫が始まりました。

学生の中には「好き」と言って持ち帰る人も。しかし、どんなものかわからない人が半数以上でした。

「栄養と料理 8月号」に「とろねば野菜の料理帖」の記事があり、モロヘイヤが紹介されています。この記事を学生に見せると「美味しそう」と持ち帰り、初挑戦した人もいました。モロヘイヤファンも増えてくれるのではないのでしょうか。



農園教室から畑への入り口にこんもりとしたアケビのアーチがあります。春先にはたくさんの花が咲き、稔ることへの期待が大きくなりました。ここ数年、実をつけたことがなかったといことなので。

しかし、今年、2つの実がつきました。実を見つけてから2か月弱、残念ながら二つとも完熟することなく、落ちてしまいました。結実までには何が足りなかったのでしょうか。来年に期待が膨らみます。

このアケビ蔓には春先にはキジバトが営巣をしたりと今までとは違った光景が見られています。